

北九州PCB処理事業について

『第50回北九州市PCB処理監視会議』(10/21)の開催結果、及び『地域振興策』の取組状況について報告します。

1. 『第50回北九州市PCB処理監視会議』の開催結果

(1) 北九州PCB廃棄物処理施設の操業状況等について

① 処理の進捗(令和4年9月末時点)

:処理再開後は、操業に影響するトラブルは一切発生しておらず、『順調』に稼働。

		北九州事業 エリア	拡大受入分		合計
			豊田事業エリア	大阪事業エリア	
安定器 及び 汚染物等	処理重量①	3,646t	2,446t	3,498t	9,590t
	処理対象重量②	3,671t	2,798t	3,928t	10,397t
	処理率①/②	99.3%	87.4%	89.1%	92.2%

② 処理計画(令和4、5年度)

:処理対象量の減少により計画を見直した結果、『令和5年11月末に処理が完了』する見込。

処理 対象物	令和4年度				
	処理計画量	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
安定器	686t	95t	250t	175t	166t
汚染物等	94t	11t	32t	26t	25t
全体	780t	106t	282t	201t	191t

処理 対象物	令和5年度				
	処理計画量	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
安定器	386t	160t	152t	74t	0t
汚染物等	30t	12t	12t	6t	0t
全体	416t	172t	184t	80t	0t

注)令和4年度第1四半期及び第2四半期は実績値

③ 環境モニタリング結果(令和3年度「冬季」及び令和4年度「春・夏季」実施分)

資料1

:北九州PCB廃棄物処理施設の「周辺環境」及び「排出源」における環境モニタリングの結果は、『全ての項目において環境基準等に適合』していることを確認。

(2) 北九州PCB処理事業所第1期施設の解体撤去工事について

資料2

① 作業の進捗状況

:第一段階の先行工事が完了し、第二段階の本工事に移行。現在、プラント設備の解体撤去に向けて、PCB除去分別作業(洗浄装置等による処理)を実施中。

② 周辺環境への配慮と作業者の安全衛生管理

:解体撤去作業時は、排気及び作業環境測定を実施し、基準値以下で適正に管理されていることを確認。また、作業者は必要な防護具等を着用して作業を実施。

③ 今後の予定

:PCB除去分別作業を令和4年12月頃まで実施。プラント設備解体撤去工事は、現場事務所設営等の共通仮設工事を行い、令和5年2月上旬頃に着手する計画。

2. 地域振興策の取組状況

(1) 「地域振興策」は、市民説明会で多く寄せられた地域の振興に関するご意見に応え、PCB処理事業に対する地域の理解、協力を一層高めるための取組みである。

(2) 現在、9月議会において補正予算事業として採決された、
・若松体育館等への空調設備の導入(令和6年夏頃に供用開始を予定)
・EVバスの導入(令和5年6月以降の運用開始を予定)
の実施に向けた手続きを進めているところである。

(3) また、若松区を中心とした地域振興策の計画的な実施に向けて、地域の課題や要望を調査・把握する「検討会議」を今月末に発足させることとしている。

<検討会議の概要>

① 会議の視点

:若松北海岸や中心市街地など、各エリアの魅力を高めていき、その情報をどのように共有・発信していくか、若い人のチャレンジをどのように後押しするかなど、「未来をつくる」視点。

② メンバー・構成

:地元で新しいビジネスモデルに挑戦する方々や、子育て支援に取り組む団体など、若い世代を中心としたメンバーとし、地域・分野別の部会を設置(事務局:若松区役所)。

③ スケジュール等

:第1回目全体会議を11月に開催し意見交換を実施予定。その後各部会でテーマ別での検討を行い全体会議に意見をフィードバックして、今年度中に結果をとりまとめ。

(以上)